

(第1-1号様式)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 13日

奈良県知事 殿

提出者

住 所 奈良市大安寺6丁目20番8号

氏 名 株式会社きんでん奈良支店
執行役員支店長 安田 守

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 0742-62-8771

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項及び奈良県産業廃棄物処理計画作成指導要綱第5の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社きんでん 奈良支店
事業場の所在地	〒630-8133 奈良市大安寺6丁目20番8号
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	D08 設備工事業
② 事業の規模	2022年度 完成工事高 120億円
③ 従業員数	190人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	排出した産業廃棄物の処理は中間処理業者、最終処分業者に委託している。 中間処理業者により中間処理施設にて選別・破碎処理、リサイクルに可能なものはリサイクル化し、リサイクルできないものは、最終処分業者により埋立処分が行われる。

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙1参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	汚泥
	排出量	229.2 t	160 t
	（これまでに実施した取組） 発生する廃棄物の種類ごとに性状を確認し、可能な限り実測している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	汚泥
	排出量	200 t	150 t
	（今後実施する予定の取組） 上記の取組みを更に推進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 廃棄物の発生量を可能な限り実測することで、適正に把握するとともに、分別処理することにより、廃棄物の発生抑制に努める。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 上記の取組みを更に推進する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	汚泥
	全処理委託量	229.2 t	160 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	229.2 t	160 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
処理業者の最終処分率を確認する。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	管理型混合廃棄物	汚泥
	全処理委託量	200 t	150 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	200 t	150 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
優良認定処理業者の採用を推進し、可能な限り処理を委託する。			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙1参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃蛍光灯(水銀使用製品 産業廃棄物)
	排 出 量	713.57 t	0.8 t
	(これまでに実施した取組) 発生する廃棄物の種類ごとに性状を確認し、可能な限り実測している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃蛍光灯(水銀使用製品 産業廃棄物)
	排 出 量	700 t	0.5 t
	(今後実施する予定の取組) 上記の取組みを更に推進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の発生量を可能な限り実測することで、適正に把握するとともに、分別処理することにより、廃棄物の発生抑制に努める。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の取組みを更に推進する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃蛍光灯(水銀使用製品 産業廃棄物)
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃蛍光灯(水銀使用製品 産業廃棄物)
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃蛍光灯(水銀使用製品 産業廃棄物)
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃蛍光灯(水銀使用製品 産業廃棄物)
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃蛍光灯(水銀使用製品 産業廃棄物)
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃蛍光灯(水銀使用製品 産業廃棄物)
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃蛍光灯(水銀使用製品 産業廃棄物)
	全処理委託量	713.57 t	0.8 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処理委託量	713.57 t	0.8 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
処理業者の最終処分率を確認する。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	廃蛍光灯(水銀使用製品 産業廃棄物)
	全処理委託量	700 t	0.5 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	700 t	0.5 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
優良認定処理業者の採用を推進し、可能な限り処理を委託する。			
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙1参照

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類
	排出量	6.75 t	18 t
	(これまでに実施した取組) 発生する廃棄物の種類ごとに性状を確認し、可能な限り実測している。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類
	排出量	5 t	10 t
	(今後実施する予定の取組) 上記の取組みを更に推進する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の発生量を可能な限り実測することで、適正に把握するとともに、分別処理することにより、廃棄物の発生抑制に努める。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記の取組みを更に推進する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
(今後実施する予定の取組)			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類
	全処理委託量	6.75 t	18 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	6.75 t	18 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
処理業者の最終処分率を確認する。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	金属くず	廃プラスチック類
	全処理委託量	5 t	10 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	5 t	10 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
優良認定処理業者の採用を推進し、可能な限り処理を委託する。			
※事務処理欄			